



当世洋菓子事情



culturepot

当世洋菓子事情

シュークリーム（以下シ）「ねえ、あなた最近、ちょっと人気があると思って調子にのってるんじゃない？このお店は前からシュークリームが目玉商品なのわかってる？」

ロールケーキ（以下ロ）「え、何ですか？シュークリームさん嫉妬ですか？毎日、長蛇の行列のお客さんが並んでいるのは私が目当てですよ。今、この店私でもっているって言っても過言じゃないんじゃないかしら」

シ「何言ってるのよ！シュークリームも昔はそんな時代があったの。あなた新入りだから知らないのよ。第一、今、コンビニでもプレミアム・ロールケーキとか言って売られているくらいよ。そのうちコンビニに抜かれちゃうかもね」

ロ「シュークリームさんだって、昔からコンビニにあるじゃない。そのわりには、プレミアム・シュークリームって聞きませんよね。シュークリームってプレミアム感出しにくいんじゃないかしら。なんか昭和のお菓子って感じで。どちらかというとなレトロがお似合いですよ」

シ「キー！腹立つ立つ～。あなただって十分レトロじゃない！」

ショートケーキ「あなたたちいい加減にしなさいよ。ここはコンビニじゃなくて洋菓子屋なの。洋菓子屋って言ったら、定番はショートケーキって決まっているでしょ。第一、あなたたちがどんなに頑張ったって、お誕生日ケーキやウェディング・ケーキになれないでしょ。所詮、ご家庭のお菓子の出身なのよ」

ミルフィーユ「おやおや、お騒がしいこと。ここは洋菓子の激戦区、神戸のお店なのよ。

芦屋のマダムが、あたなたちのような庶民のお菓子をいつまでも好むと思ってるのかしら。芦屋の奥様のティータイムと言えば、華やかで上品なミルフィーユよ」

シュークリーム、ロールケーキ、ショートケーキ「何ですって～！」

そうやってケーキ達が言い争いをしているうちに、朝のお客さんがやって来て、昼過ぎにはすっかりガラスの中のケーキ達はいなくなつた。そして、洋菓子屋に静けさが訪れた。

これが神戸のとある洋菓子屋の毎日の光景である。。

当世洋菓子事情

<http://p.booklog.jp/book/32670>

著者 : culturepot

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/culturepot/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/32670>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/32670>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.